

クラブ運営方針



2001~02年度

2001~2002年度

平塚湘南ロータリークラブ

会長 野崎 審也

社会的・経済的環境が悪化していく中で2001年がスタートしました。当クラブも11年目を迎えましたが、今迄の良いところは踏襲しながらも、過去の前例主義や形式主義を廃し、新しい時代に対応した考え方、行動をしていかなければこの厳しい環境を乗り切れないと思います。今期のR・Iのテーマ『人類が私達の仕事です』-----この言葉の持つ意味を深く理解し、奉仕の原点にかえて行動すべきことは当然ですが、当クラブとしては、運営方針を「融和と協調をはかり、全員参画で社会貢献をしよう」ということで1年間やっていきたいと考えています。

今まで組織のスリム化と経費の節減に勤めて来たが、今期は、クラブの体質の強化をはかり、元気の有るクラブとして独自性を発揮し、他のクラブとの差別化をすすめ平塚湘南RCとしての特色を積極的に展開していく時だと思えます。

それにはまず第一に、同一認識・同一行動を基本スタンスに考えていきたい。会員1人1人の価値観や考え方、行動スタイルも多様化、複雑化しているの、クラブとしての統一行動が取りにくくなって来ている。そこで、会員相互の意志の疎通をよくし、情報の共有化によって全会員が同一認識を持ち、全員参画で行動すべきと考えます。そして、理論や規定重視でなく、まず、「行動を」さらに寄付行為よりも「知恵と汗」でクラブ運営をすすめていきたいと思えます。

第2は、会員の増強であります。「量より質」という考え方が有りますが、健全なクラブ運営をしていくためにも「量」は絶対に必要で、増強は会員1人1人の責務であると言えます。

安易な入会は即退会につながりますが、入会後の教育指導を十分行うことによって魅力あるロータリアンになれますので、まず、会員増ありきで考えてゆきたい。そのためには、私達自信も今までよりもワンランクアップし、真に魅力有るロータリアンとして新会員が加入しやすい環境造りを造ることが肝要であり地域社会の中で存在感有るクラブとなれるよう社会貢献を積極的におこない、地域から評価される様努力していきたいと思えます。

皆様の御理解、御協力の程よろしくお願い致します。